

皆様こんにちは！世界のウチナーンチュ大会が去った日曜日閉会しましたが、余韻を残すかのように新聞等はまだまだ各地のイベント模様を掲載しています。実に多くのドラマがあったこと示しています。記事の中でよく目に止まるのが当初は”絆”、”ちむぐる（「友愛・相互扶助の精神」の意）”とかでしたが、後半は”~チュ（「人」の意）”です。うらし-んちゅ（浦添）、ふえーばるんちゅ（南風原）、うるくんちゅ（小禄）、たばるんちゅ（田原）などの各地の歓迎交流会の冠です。沖縄方言のイマイチの方は、この地名の変換法を学べば方言習得の早道かもしれませんのでチャレンジしてみてください。

宜野湾の人　じぬわんチュ

普天間人　ふていんまんチュとか、

話題は変わりますが、去った東日本大震災が如何に大きな地震だったかを示す報告があります。私の職業の範疇であります測量法の改正で、昭和24年規定がこの地震の影響で今回改定されました。それは、地図上の位置を示す緯度経度などの表示の見直しです。

東京にある基準値の経度が東側に0.01秒程動いて、標高的には24mm程陸地が下がった。微少な値に見えますが、GPSの発達した現在ではハイテク技術に大きな影響を与えるものです。昨日のプロ野球リーグのクライマックスシリーズに進出決定した差が僅か1毛差でして、天と地の開きの明暗を分ける数値からみても当事者からみれば計り知れない大きな意味を持つものがあると理解できるでしょう。

、、国土面積も相当減った？(>_<)